

令和7年度 第1回 大府市交通安全対策会議 議事概要

日 時：令和7年5月16日（金）
10時00分～10時50分
場 所：大府市役所 全員協議会室

【 出席者 】

会 長：岡村秀人（大府市長）

委 員：稲葉亮（国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所名古屋国道維持第三出張所）、関本慎司（代理：愛知県知多建設事務所）、林下京子（愛知県道路コンセプション株式会社）、今井聡至（東海警察署交通課）、土井正明（東海大府交通安全協会大府分会）、深谷さと子（大府市身体障がい者福祉協会）、坂本厚子（大府市小中学校PTA連絡協議会）、山内とよ子（大府市地域婦人団体連絡協議会）安藤梨子（公募委員）

幹 事：小林木綿（文化交流課）、小島紳也（高齢障がい支援課）、近藤智昭（幼児教育保育課）、藤田奈緒子（こども若者支援課）、竹嶋雅人（都市政策課）、清水良（中心市街地整備室）、中村秀人（道路整備課）、池村英司（水緑公園課）、原田亮男（学校教育課）、浅田和貴（消防総務課）

事務局：中村浩（市民協働部長）、近藤宏幸（危機管理課長）、喜多村祥久（危機管理課生活安全係長）、宇佐見裕哉（危機管理課生活安全係主任）

欠席者：大嶋民江（ゴールドンクラブおおぶ）

傍聴者：なし

議事

- 司会 危機管理課長
- 議長 大府市長（会長）

1 会長あいさつ

【会長】

この会議は、法律および市の条例に基づいて設置している。委員任期は令和6年度から2年間としているが、令和7年度から交代された委員もみえる。会議内で策定した計画を基に各種事業を推進していくため、委員の皆様には有意義なご意見をいただきたい。

昨年は1月、5月に交通死亡事故が発生し、2名の尊い命が犠牲となり、昨年5月の悲惨な事故から約1年が経過しようとしている。市内では死亡事故こそ

発生していないが、依然として交通事故は発生しており、厳しい状況は続いている。このような状況も踏まえ、東海警察署などの関係団体と連携して啓発活動を実施している。

主な事業として、自転車利用時のヘルメット着用を強力的に推進するため、全年齢を対象とした購入費補助制度や、高齢者向けの交通安全対策として、自動車学校と連携し、運転技能維持・向上を目的とした技能講習の実施、運転免許返納者支援としてタクシー料金助成を実施している。

本日委員の皆様には、令和7年度の実施計画について、それぞれの立場からご意見をいただき、今後の各種事業に反映していきたいと考えているので、よろしく願います。

2 協議事項

令和7年度大府市交通安全実施計画（案）について

事務局及び関係幹事による資料説明

【委員】

昨年ゾーン30プラスの施行後、市民の反応はどんなものか。

【道路整備課】

施工直後は通行しにくい旨の苦情をいただいたが、現在、苦情等のご意見はいただいている。

【委員】

高齢者向けの運転技能講習について、参加者へのアプローチ及び参加者数はどのくらいか。

【危機管理課】

健康増進課が実施する65歳以上の健診受診者を講座の受講対象者としている。健診実施時にVR機器を用いて、運転に必要な能力の検査をしており、検査終了後に講座受講の案内を行っている。健診受診者の一部の方が申込を行い、昨年度は十数名の方に講座受講していただいている。

【委員】

身の回りでも免許返納者が増えている。市内を走るタクシーの数が少ないということを聞く。タクシーの増車や代替の移動手段等の対策をお願いしたい。

【危機管理課】

免許返納者へのタクシー料金助成事業を令和7年1月から実施しているが、事業開始時にもタクシー事業者へ増車していただきたい旨をお伝えしている。

【都市政策課】

タクシー、バス、鉄道等公共交通に関する協議会を所管しており、協議会の中でも移動支援がどこまでできるか検討している。ふれあいバスの増便を予定しているほか、社会福祉法人の車両を活用した商業施設への移動の取組を実施している。

【委員】

共和駅付近で自転車駐車場の改修を行っているため、仮設の自転車駐車場を使用している。仮設のため、スペースが狭く、照明も少ないが、整備予定等を確認したい。

【中心市街地整備室】

共和駅東側で自転車駐車場の整備工事に着手している。県道高架下、公園、民間の自動車駐車場の敷地を借りて、仮設の自転車駐車場を整備している。不便な期間を極力短縮できるよう工事をすすめることにご理解いただきたい。

【委員】

外国人や高齢者が中心となるが、原付など高速道路の通行に不適格な車両や通行が禁止されている者の進入が後を絶たない。外国語のポケットブックを配布しているとのことだが、資料をいただきたい。また、高齢者向けの交通安全講話等で、進入禁止について案内はされているか。

【文化交流課】

ポケットブックについては、会議終了後に案内する。外国人の方が、転入される際に、資料について説明し、注意喚起しているものとなる。

【高齢障がい支援課】

交通安全講話等実施しているが、内容については、規制標識等の細かいものでなく、広く一般的な交通ルール等とすることが多い。本日いただいたご意見を参考に、講話内容に盛り込んでいきたい。

3 報告事項

大府市の交通事故情勢について

【東海警察署】

日頃から、警察行政に多大なる協力を賜り、改めてお礼を申し上げる。

愛知県の交通事故情勢について、5月15日時点で38名が交通事故によって亡くなっている。前年対比16名減少となっているが、全国ワースト6位である。自治体においても免許返納支援制度の設置など進めているが、免許返納

をしやすい環境づくりに努めていきたい。

東海警察署管内の情勢だが、東海市内で2件の交通死亡事故が発生している。2件の事故はいずれも出勤時に走りなれた道で発生しているため、ご注意ください。昨日時点の暫定数で、人身事故件数は195件で昨年対比25件増加、大府市内では92件で前年対比16件増加となっている。物損事故は、2,053件で前年対比28件増加、大府市内では930件で前年対比20件減少となっている。

東海警察署として、今年にはドライブレコーダー映像を活用した交通安全教育の推進、交通事故に直結する横断歩行者妨害などの取締を強化していく。5月は自転車対策の強化月間としており、大府市内の商業施設においてヘルメット着用の啓発活動を行った。今後もこのような活動を関係機関と協力して行い、市民の行動変容につなげていきたい。交通安全教育、交通規制、取締を強力に推し進め、交通事故を1件でも多く減らせるよう取り組んで行くため、今度とも御協力をお願いします。

(閉会)